

先生方へお薦めの本

これらの本は、まなびサポートスタッフの指導主事、公認心理師、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、特別支援教育指導員が先生方にお薦めする本です。

* 印の本は、教育研究センターにあるものです。先生方に貸し出すこともできますので、問い合わせください。

書籍		コメント
<p>僕は、字が読めない。 読字障害と戦いつづけた南雲明彦の24年 小菅 宏/著、集英社、2009. 8</p>	*	<p>文字を読むことが周囲の人より著しく遅かったり、書き取る作業が苦手な文字がゆがんでしまったりする人、LDの中のディスレクシアという個性を持つ主人公の心境を綴ったものです。ディスレクシアの実態に向き合い、理解を深め、自分の視野を広げませんか。</p>
<p>発達のつまずきから読み解く支援アプローチ 川上 康則/著、学苑社、2010. 3</p>	*	<p>「じっと座っていることができず、姿勢が崩れやすい子」「友だちとのトラブルが絶えない子」など、27の具体的な子ども達の姿を取り上げ、つまずきのサインの読み解き方、指導や支援の具体的な方向性を示したものです。子どものよりよい育ちのためにも、つまずきを読み解く視点を踏まえた子どもの理解を深めていきませんか。</p>
<p>読み書き障害のある子どもへのサポートQ&A 河野 俊寛/著、読書工房、2012. 11</p>		<p>読み書きに困難のある子どもたちと関わる先生方を対象に、状態、原因、評価方法、支援方法について解説したものです。Q&A形式の解説なので、目の前にいる子どもへの支援の第一歩とすることができるものです。</p>
<p>個別でもみんなの中でも教えられる！ 国語・算数の初歩でつまずく子への教え方と教材 栗本 奈緒子/著、学研プラス、2020. 4</p>		<p>目の前の子が学習につまずいている普段の様子から、原因についてチャート形式でおおまかに仮説を立て、つまずきをクリアできるよう具体的な支援方法のヒントが掲載されています。</p>
<p>教室でできる特別支援教育のアイデア172 小学校編 月森 久江/編集、図書文化社、2005. 11</p>	*	<p>聞くことが苦手な子、話すことが苦手な子、コミュニケーションがとれない子、教室を飛び出す子……様々な悩みを抱えているお子さんの状態に合わせて、教室でできる指導・支援が数多く掲載されています。</p>
<p>ワーキングメモリを生かす効果的な学習支援 学習困難な子どもの指導方法がわかる！ 湯澤 正道・湯澤 美紀/著、学研プラス、2017. 7</p>	*	<p>「ワーキングメモリ」という脳の働きが、学習と密接に関連していることが広く知られるようになりました。ワーキングメモリのユニークさ(タイプ)の解説、それに合わせた指導・支援方法が解説されています。また、ワーキングメモリに問題がない事例も掲載されています。</p>
<p>応用行動分析で特別支援教育が変わる 子どもへの指導方略を見つける方程式 山本 淳一・池田 聡子/著、図書文化社、2005. 11</p>	*	<p>個人の行動には、すべてに先行刺激があり、その先行刺激(A)に対応して行動(B)が引き起こされ、その行動の結果引き起こされる環境の応答(C)が個人の次の行動に影響を与えるという「ABC教育技法」が紹介されており、個々の問題行動への対応と支援を学ぶことができます。</p>
<p>完 子どもへのまなざし 佐々木 正美/著、福音館書店、2011. 1</p>		<p>精神分析家のエリクソンがつくりあげた「ライフサイクル・モデル」を紹介する中で、人生の節目節目(乳児期、幼児期、児童期、学童期……)における「発達課題」が示されています。園や学校における発達段階に応じた指導・支援の柱が見えてきます。</p>